

NPO法人

「畑と田んぼ環境」再生会

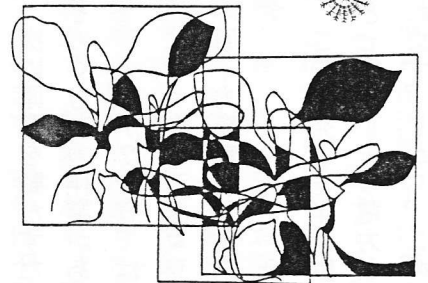
「農ある生活を楽しむ」

「畑と田んぼ環境」再生会

H23年11月28日会報5号

編集：仲野 忠晴

<http://hatake-tanbokankyo.org/>



原発はいのちを大切にするのか!?

豊かさの中で寝ぼけた生活していると、あるとき強烈な目覚まし時計がその意識を呼び覚ましてくれると
きがある。東日本大震災の福島原発事故は、まさにそうした出来事でした。

今回は、原発についての基本的な知識を深め、本当にそれが必要なものかどうかを真剣に考えてみましょう。
●放射性物質の危険な理由
まず、放射性物質がなぜ危険なのかについて簡単に

説明します。それは、私たちの生命の世界が原子核の安定性の上に成り立っているのに対して、原子力が、原子核を不安定化させることで生み出される世界だということです。原因があります。つまり、原子核を不安定にさせることで生み出される膨大なエネルギーは、エネルギーとしては魅力がありますが、原子核が安定している生命世界にそのエネルギーを安易に持ち込むと破

壊的な影響を与えるということです。

地球上では、ほとんどのものが原子核の周りを回る電子が結びついたり離れたりして、物が燃えたり、金属がくっついたり、また損傷したりといった変化が起こっています。また、人間を含め地球上のほとんどのものは、原子と原子が結びついてできた分子で構成されています。そして、分子がお互いに結合するた

めに使われるエネルギーは数電子ボルト程度です。しかし、核分裂によって生じる放射線は、数十万から数千万電子ボルトのエネルギーを持っています。このような放射線が一旦に人体を通過すると、その桁違いのエネルギーによって遺伝子の中のDNA、体を形作っている分子の結合が切断されたり組み替えられたりしてしまうのです。ガンや白血病、遺伝子障害などが起こるのはこのためです。
一九九九年九月三十日に茨城県東海村の核燃料加工工場で核分裂が連鎖的に起こる臨界事故が発生した時、現場に作業にあたっていた大内さんが大量の被爆をしました。このため大内さんは、皮膚、筋肉、内臓、骨など体全体の細胞が再生されず、どんどん下血した後には亡くなりました。放射線の大量被曝によって体の再生機能が失われ、いのちが奪われたのです。

●原発の特性
一九六〇年代は、「二〇〇〇年には原子力は社会の主要なエネルギー源や生産システムのエネルギーになっているだろう」とバラ色の夢を抱いた時代でした。核エネルギーで飛行機やロケットを飛ばしたり、自動車を動かしたり、製鉄に使うなど、いろいろ利用の仕方があるだろうと思われていたのです。しかし、研究が進むにつれて、放射能の問題が最大の障害になり原子力は使えませんでした。結局、核エネルギーの利用は、熱エネルギーとしてお湯を沸かし、その水蒸気でタービンを回すというエネルギー転換の仕方しか見つからなかったのです。これが原子力発電です。
ですから、原子力発電と火力発電との違いは、ウランでお湯を沸かすのか、石油・天然ガスでお湯を沸かすのかという材料の違いだけで、その後の発電の仕組

みは全く同じです。ただ、原発は、核分裂によって生じた膨大なエネルギーを直接電力に変える方法がないためエネルギーの転換効率

は悪く、三分の一くらいが電力として使われるだけで、あとの三分の二は温排水として海に捨てられています。

ちなみに、日本の川の総流量が4000億トンに対し、日本の原発五十四基からは1000億トンの温排水（海水の温度より7℃高い）が排出されるため、日本近海を温暖化させています。

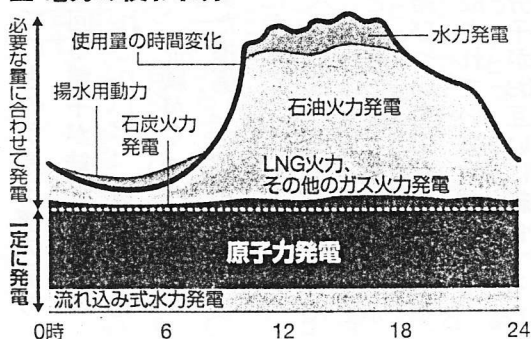
また、原発は、火力や水力発電と違い、核暴走になる危険性があるため、とても使いづらい発電システムです。例えば、原発は、昼間百万キロワットで運転して夜三十万キロワットで運転するという出力調整ができません。また、毎日立ち上げて毎日シャットダウンすることも出来ません。つまり、定期点検を終えて炉を立ち上げると1年近く同

じ出力で運転を継続しなければならぬのです。

電力における原発の割合が三十%と言うのは、電気は貯めることが出来ないという性質と原発が出力調整できない性格から来ています。そのため原発は、夜間に使う最低の電力需要量のベース電源にしかできないのです。ですから、夜間は主に原発だけで稼働し、朝方から徐々に火力発電を立ち上げていき、昼から夕方にかけて水力発電を起動させて調節しています。このため原発の稼働率（7割、8割）は高くなり、水力（2、3割程度）・火力の稼働（4、5割程度）は低くなります（表参照）。

ですから、普段稼働率の低い火力や水力を高くすれば、日本中の原発をすべて止めても電力不足にはならないことがわかります（表参照）。震災直後電力が足りなくなつたのは、地震の影響で火力発電も被害を受け

電力の使われ方

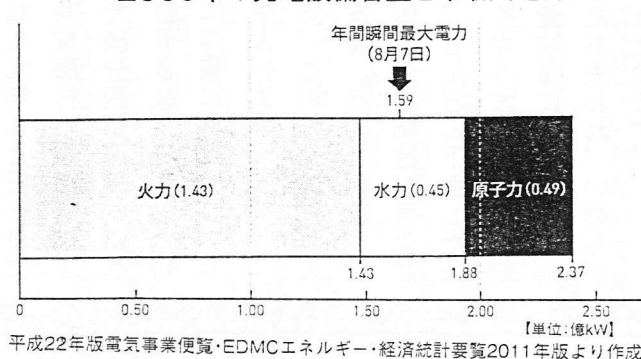


● 原発は石油に依存している

次に原発を動かすためにどのくらいの作業があるのでしょうか？今日では標準的になった百万キロワットの原子力発電所で説明します。

この原発を一年間動かすと七〇億kwの電力が得られます。しかし、この燃料

2009年の発電設備容量と年最大電力



平成22年版電気事業便覧・EDMCエネルギー・経済統計要覧2011年版より作成

を得るためには、ウラン鉱石の採掘、精錬、転換、濃縮、加工などの複雑で長い工程が必要です。なぜこれだけの工程が必要かというと、燃料となる（核分裂する）ウラン235は、ウラン鉱石に0.7%しか含まれていないため燃料棒を作るために大変な労力がかかるからです。しかも、この原発を動かすため過程でウラン鉱山からウラン残土二四〇万トン、精錬工場ではウ

ラン廃棄物十三万トン、さらに濃縮工場で劣化ウラン（劣化ウラン弾の材料を一六〇トン、原発からは三〇トンの使用済み核燃料などの放射性物質を排出します。当然これらの採掘、輸送、精錬の工程で莫大な資材やエネルギーが使われています。そして、これらのすべての工程で石油を必要としています。また、原発の建設、放射性廃棄物の処分・管理、そして原発の廃炉も石油が必要です。原発も他の発電同様、石油に依存したシステムなのです。石油が枯渇したら原発は動かせません。ですから、発電時に二酸化炭素を出さなくても、原発を行うために必要な工程では、大量の二酸化炭素を出します。これなら、ウランでお湯を沸かすような遠回りをしてしないで、直接石油でお湯を沸かしたほうが効率

的ではないでしょうか？



● 原発を過疎地に

建てることの意味

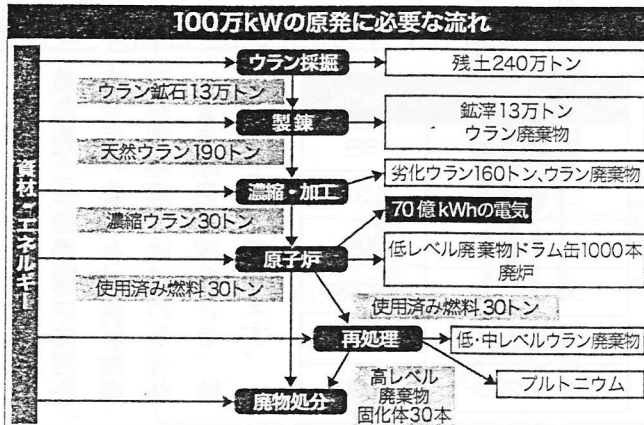
なぜ東京電力の原発が福島県にあるのか？このことを疑問に持った人もいるのではないのでしょうか。その理由は、国の原子力委員会が定めた「原子炉立地審査方針」にあります。これには、原発を建てるときに「原子炉からある距離は非居住区であること」「非居住区の外側は低人口地帯であること」「人口密集地帯から離れていること」という3つの選定基準が書かれています。この法律のため、原発は東京には作ることはできません。これが、福島に原発が作られている理由です。このことは、原発は僻地にしか作れないし、原発の運転を継続するためには、立地地域は過疎地であり続けなければならぬことを意味します。そして、このことは、原発が安全ではないということを証明しています。ところで、電気を使用す

る場所から遠いところに原発を建てるということは、長い送電線を引くということになります。これは余分に費用がかかるということです。都会に建てることは、可能な火力発電には、この費用がかかりません。また原発を誘致した地元に対して巨額の交付金を払っていますが、これも原発固有の費用です。また、原発の後に出る使用済み核燃料の処理費、原発の廃炉にかかわる費用、これも原発固有の費用になり、その金額は天文学的数字になると言われています。

原発という危険なものを過疎地の住民に押し付けているだけでなく、そのことがまた原発固有の様々な費用を生み出しています。また、この他にも事故の保証費用などもあります。以上のことを考慮して試算すると、原発のコストは決して安いものにはなりません。

● 原発労働者の被曝

原発が危険である原因は、放射性物質から出てく放射線の被曝です。まず心にとかりと留めてもらいたいことは、前述したように、ウランを原発で燃やすまでの工程で大量の放射性物質が排出され、その仕事に従事する大勢の人が被曝しているということです。



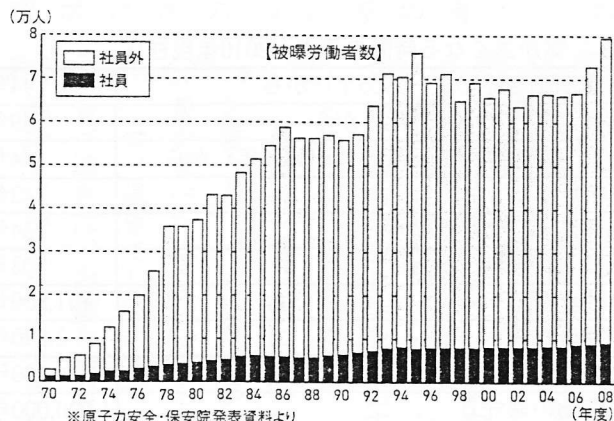
燃料となるウランを掘っている人、それを精錬する人、濃縮・加工する人も被曝しています。世界第3位

の数の原発を動かすために、日本人も含め多くの人が被曝しています。世界中の多くの人たちの犠牲の上に成り立って原発が稼働しているということです。

また、原発を「安全」に運転するために多くの労働者が被曝しています。年に一度の定期点検の際、燃料を交換し、安全を確認した上で、再び起動させるのですが、この点検の工程作業で被曝が避けられません。この作業の中でも特に危険なものは、除染作業です。

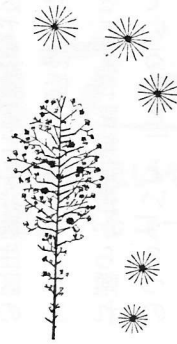
これは、原子炉を止めた後、原子炉格納容器とその内部の放射線量が高くて人が近づけない区域を、技術者が入れるようにごうきんで放射性物質を拭き取る作業です。また、格納容器の蓋の開け閉めなども大ハンマー（25キロ〜35キロ）を使って人力で行います。原発はハイテクでもそれを安全に運転するためのメンテナンスは人力なのです。そし

て、このような本当に危険なことをするのは、社員外の作業員です（表参照）。



しかも、原発が老朽化すればするほど保守・点検の量が増え、被曝することが増えます。原発の平均寿命は十六年と言われ、二十年を越えると事故やトラブルが多くなつてきます。ちなみに、日本の原発で五十四基のうち三十五年を越えるものは十一基、三十年以上だと十九基となります。また、通常の点検作業でも被曝をしますが、故障や

今回の福島事故が起これば、それ以上の酷い被曝を強いられることになります。この他にも原発の廃炉の作業にも被曝は伴います。これらのことからわかるように、原発というシステムの「安全」は、多くの労働者の被曝によって支えられているということなのです。このことは、被曝によって一定の確率や割合でいのちを落としていく人がいるということの意味しています。



● 放射性物質の

処理について

原発で一番問題となるのが、高レベル放射性廃棄物の処理とその費用です。なぜなら現在の科学では、これを無害化できないからです。標準である百万キロワットの原発一基を八十%の稼働率で運転すると、三十

物とドラム缶1000本の低レベル廃棄物が出ます。この放射能は、広島型原発の1000発分に相当します。そして高レベル放射能廃棄物は、最短でも1万年、研究者によつては100万年地下水から隔離して保管しなければならないと言われています。

現状では、この高レベル放射能廃棄物を溶かした後、ガラス原料と共に高温で溶かして、ステンレス製の容器の中で固めたガラス固化体になります。そして、二〇二七年までにガラス固化体4万本を地中深く、水資源を汚染しない場所に深く埋めるという地層処分計画を立てられています。ちなみにガラス固化体1本当たりの費用は八・五億円、これが4万本だと三十四兆円になります。

の多い日本で水系から確実に隔離する場所などありません。また、当然のことですが、最終処分場となる場所、日本中が拒絶しているため、その場所はまだ決まっています。放射性廃棄物の処理方法がわからないまま原発を稼働させ、核のゴミを作っています。

核種	半減期
ヨウ素131	8日
コバルト60	5.3年
セシウム137	30年
ラジウム226	1600年
プルトニウム239	2.4万年
ウラン238	45億年

● 原発は必要か

「原発が無くなると電気が足りなくなる」「原発は二酸化炭素を出さない」「原発は発電コストが安い」「原発は安全」などと宣伝されて、原発が推進されてきました。しかし、今まで見てきたように、それは事実と異なります。私達に問われていることは、次のことです。

原発を稼働させるために働いている人を被曝させ、温排水で海の生態系を乱し、二酸化炭素や放射性廃棄物を排出していのちを危険にさらし、事故が起これば大気、海、大地を汚染し農作物の栽培もできない、そして半永久的に国土の一部を失う、これだけの多大な犠牲を払ってまでウランでお湯を沸かす必要があるのか、ということなのです。

チェルノブイリ原発から180キロ離れたベラルーシに小さな村があります。ここも事故で汚染され住むことができなくなった場所です。ただ、アレクセイという若者とお年寄りが三十人程度住んでいます。放射能に汚染されない水が湧き出る奇跡の泉があるからです。そのアレクセイが言っています。「原子力発電ができれば、生活がもっと豊かになるって教えられた。でも、ぼくの村は、ほんの少しの電気、とても豊かだ

気が遠くなる時間の長さ (2010年現在)

日本で原子力発電が動き始めて (1966年) から	44年
現在の9電力会社ができて (1951年) から	59年
日本初の電力会社 (東京電灯) ができて (1886年) から	124年
明治維新 (1868年) から	142年
アメリカ合州国建国 (1776年) から	234年
忠臣蔵の討ち入り (1702年) から	308年
邪馬台国 (卑弥呼) から	約1,800年
神武天皇 (?) 即位から	2,670年
低レベル放射性廃物のお守り	300年
高レベル放射性廃物のお守り	1,000,000年

つたし、いまでもみんな満足している。この村には、いのちが育つのに必要なものは何でもそろっている。ただひとつ要らないものは、人間が作った放射能だけ」。

*1万年、100万年といいますが、時代をさかのぼって考えると、それがどれ程長い時間かわかりますね。

福島原発事故以来、食に
関して放射能という問題が
新たに加まりました。特に
子どもや若い人は、放射能
の影響を強く受けるため、
食にも注意が必要ですね。
それで、今回は食に関して
放射能対策の要点を簡単に
まとめてみました。

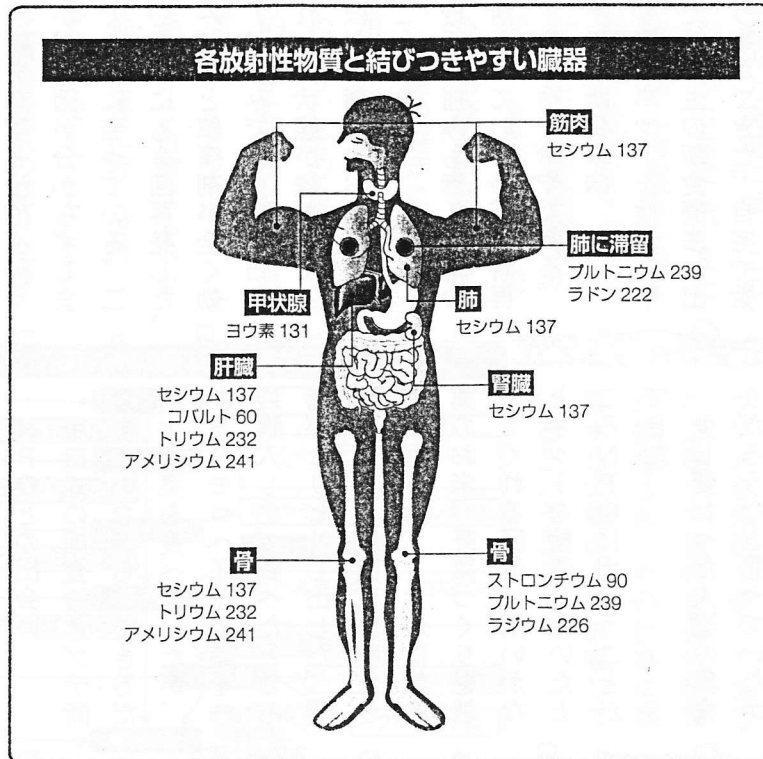
国が設定した安全基準は、
混乱を防ぐことが目的で、
基準を満たしていれば安全
と言い切れるものではありません。放射性物質をでき
るだけ体内に取り入れ
ない、そして、体内の放射性物質
をできるだけ排泄する、と
いうことが重要なポイント
になってきます。

ではどうすればいいので
しょうか？対応策は「食事
で体に必要なミネラル取り
入れること」です。理由を
説明します。

呼吸、皮膚、傷口、食物
などから放射性物質が体内
に入ると、それは血液を通
して体の様々な臓器に蓄え
られます。ただ無差別にど

食から考える放射能対策

の器官にも蓄積されるわけ
ではありません。例えば、
放射性ヨウ素は甲状腺に取
り込まれるように、それぞ
れ特定の臓器や場所に特定
の放射性物質が吸収され、



うに、食事でミネラルを摂
取し体を満たしておくこと
が、放射能への対策になり
ます。
実際、放射性ヨウ素が体
内に入る事を防ぐために、

蓄積される傾向があるので
す(図参照)。これは臓器が
栄養素と間違えて放射性物
質を吸収してしまうことが
原因です。ですから、体が
放射性物質を必要なミネラ
ルと間違えて吸収しないよ

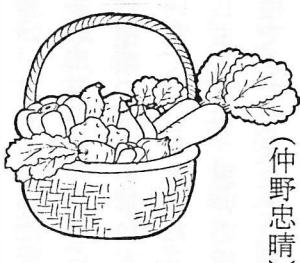
安定ヨウ素剤を飲んで甲状
腺を安全なヨウ素で満たし、
放射性ヨウ素の吸収を防い
でいます。この他にも、放
射性セシウムにはカリウム、
放射性ストロンチウムには
カルシウムを摂取して放射

性物質の吸収しないように
しています。このことは農
作物にも利用され、福島で
は、カリウムを撒いて稲の
セシウム吸収を抑制しまし
た。

また、ミネラル摂取が有
効であるという事例がこの
他にもあります。長崎に原
爆が投下されたとき、爆心
から1・4キロの所にあっ
た浦上第一病院です。この
時、秋月振一郎院長が食用
医学に基づいて、塩をつけ
た玄米のおにぎりと、ウボ
チャやワカメを入れた味噌
汁を患者やスタッフに食べ
させたところ、スタッフや
患者に原爆症の症状が出な
かったという事実がありま
す(「長崎原爆記」、平和文
庫)。このことから、ミネ
ラルを多く含んだ食事が放
射能を防ぐのに有効である
ことがわかります。

メ、ヤサイ、サカナ、シイ
タケ、イモ) + 玄米(分つ
き米) + 発酵食品 + ローフ
ード(生の食品)を心がけ
ることが、放射性物質の蓄
積を防ぎ排泄するポイント
になります。また、林檎や
柑橘類に含まれるペクチン
は、体内の放射能を排出す
る作用があるそうです。

最後に一言。体に良い物
と一言、できるだけ多く
量を食べたほうがいいと考
え食べ過ぎてしまいます。
食べ過ぎは、内臓を余分に
働かせ、かえって疲労させ
ます。断食の例からもわか
るように、食べないことで
も体の排泄力が高まります。
午前中に体の排泄力が高ま
るので、朝食を抜いて内臓
を休め老廃物を排泄する半
日断食もお勧めです。



(仲野忠晴)

会員フォーラム

会員の皆さんの思いや考え、体験したことを紹介するコーナーです。

NPOとの出会い

凛々(林 俊朗)

・踵の激痛発生

二〇〇八年の4月中頃に左右の踵に突然激痛が走った。歩くこともままならず、東京医大病院を含め4箇所
の病院で診察と治療を行ったが、原因が分からずじまいで今日に至っている。二〇〇九年にも2回再発した。痛みだすと鎮痛剤が全く効かず、痛みで数日間は殆ど眠れない状態が続き、1ヶ月ほど松葉杖のお世話になることとなる。

最近痛みも無く通常の生活をしているが、何時再発するか冷や冷やである。

・甲田式断食療法

書籍やネットを検索し甲田光雄先生の断食療法に出会う事ができた。自宅で数日間の断食を試みると身体の軽さや頭の中が明瞭になる事を実感し、以後は朝食を抜き、昼食・夕食はできるだけ野菜中心の食事を心掛けていた。が・・・食欲

に負けドカ食いをするときが多々ある。

発病前は体重が85kg 近くあり暴飲暴食を繰り返していた為、病気になるのは自業自得で当然だと思ふようになった。

・NPOとの出会い

甲田式の朝食抜きプチ断食を行いつつ、できるだけ生野菜を食べていたが、ある日モロヘイヤの葉を一袋購入し生で食べたところ唇がヒリヒリし出した。唇ヒリヒリの原因は農薬だと思われる為、どこかに無農薬のお米、野菜づくりを教えてください。団体は無いかなとネットを検索していたところNPOに出会うことができた。

少し変わった人達の集まりだろうなと思っていたが、期待通りに個性的な人達が集まっていた(笑)

二〇一〇年度にNPOで貴重なお米作りの手順を学び、今年二〇一一年は野武士集團のチーム長竹で乳酸

菌除草やSRI農法等々のお米作りを経験することができた。来年は田んぼの一区画で、SRI農法等を含め新たな技術での米作りを行いたいと思う。また畑には固定種中心の野菜作り、種取りにも励みたいと思う。NPOは会則も最低限のルールである為、南国奄美大島生まれの私には大変相性が良いようだ。会員の方も謙虚で勤勉な方が多く大変素晴らしい団体だと思う。本会の発展に少しでも寄与できたら良いと思う今日この頃です。



農ある生活を始めて

今井俊男

私は数年前に、自然農の存在を知りました。まだ書籍で読んだだけの知識だったので、どこかで実践した

いと思い、まず手始めに近所の多摩川河川敷の草むらで、数種類の野菜を解説本に従い育てていきました。そうしましたら、思いのほか収穫できてしまったのです！

そこで、ある程度の手ごたえを感じたのと同時に、収穫待ちの作物を何者かによつて盗られてしまった事と、無許可で河川敷を使用している後ろめたさもあり、自然農を実践できる畑を他で探し、相模湖の傍で借りるようになりました。

そこでは、発育が悪かったり、実を結ばなかったり、おまけに山間部なので獣害もありました。あまり、満足できる収量を得る事はありませんが、農ある生活を始める前と後では心身の充足感が違いました。大地と共にある安心感といいますが、大地の氣を頂いているといえますか、そのような感じがします。

農ある生活をまだ始めた

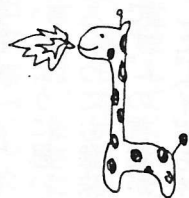
ばかりですが、もう農のな
い生活はすでに考えられな
くなってしまいました。

これからは、農の他にも、
狩猟と採集も積極的に取り
入れて行こうと思います。
手間は掛けるけど金は掛け
ないという具合に。

これ等の事を突き詰めて
いけば、自然と共に生きる
様々な知恵も学べるし、自
然の恵みに対する感謝の念
もより一層深まると思いま
す。どこまで出来るか分か
りませんが、楽しみながら
出来る範囲で実践して行き
たいと考えています。

初の米作り

木村さち



農業をやってみたくと思
い、たまたまインターネッ
トでNPOを知りました。
2年前、小川さんの畑研修
を受け、昨年は田んぼ研修

を受け、今年は自分たちで
お米を作ってしまう！数年
前の私達ではそんなこと考
えられないことです。

場所は三角田んぼで約
1・5畝。研修田から頂い
たさとじまん、もち米で苗
作りをはじめました。研修
で一通りの事は学んだもの
の、実際やってみると何も
かもが初めてのことなので、
どこに苗を作ったらい
いか？必要な道具は何か？ど
ういう要領がよいのか？車が
小さいので道具を積むのも
一苦労・・・本やNPOの
方たちのアドバイスをうけ、
収穫までたどりつけたとい
った感じです。お米の方は
トータルで50キロになり
ました。

様々な場面で、いろんな
方からお米作りのことを聞
き、それぞれのやり方があ
り勉強になります。天候等
もありますが、自然がどの
ようなメッセージをくれる
のか？そう考えると、本当
に奥深いです。

平日は夫婦ともにフルタ
イムなので、週末しか動き
がとれず、自分等のことで
精一杯。なかなかお手伝い
できないのが申し訳ないの
ですが、皆さんと出合い、
普段の職場とは違った人間
関係で、勉強になり、感謝
しています。来年は不耕起
も考えているのですが、ど
うするかじっくり考えたい
と思います。そう考えると、
ワクワクしてきます。

最後に木村家のもち米の
食べ方（玄米もちもどき）。
米を3日間浸水させ（水は
1日1回換える）それをミ
キサーにかけ、圧力鍋に入
れて5〜10分位蒸す。そ
れをバットなどに広げて、
切り餅くらいの大きさに切
る。冷めたら冷凍庫に入れ
て、食べたい時に食べる分
だけ焼いて食べます。フラ
イパンにごま油を敷いて焼
くとおいしい。やったこと
のない方、ぜひ試してみ
てください。

PS：先日の収穫祭の時

の話聞いてですが、この
NPOの良いところはみん
な様々それでいい、とい
うところだと思います。会
の4原則に沿って、多収量
を目指す人、農法を追求す
る人、ゆるやかにつながり
うがよいところだと思っ
ています。

本の紹介



原発に関してもう少し詳
しく知りたい方は以下の本
をお勧めします。

「原発神話からの解放」（高
木仁三郎・講談社プラスア
ルフアー文庫、800円）

原発が日本に浸透して来た
背景や歴史に触れながら、
「原子力は無限のエネルギ
ー」「原子力の平和利用」、
「原子力は安い電力を提供
する」、「原子力は地域振興
に寄与する」など、私達が
植え付けられてきた思い込
みを一つ一つ取り除いてく
れます。

「隠された原子力・核の真
実」（小出裕章、創史社、1
470円）いかに原子力開
発というものが人類に不幸
をもたらすか、それを科学
者の責務として、専門家が、
そうでない読者に向かって、
できるかぎり丁寧な言葉で
説明した良書です。

「原発ジプシー 増補改
訂版 ―被曝下請け労働者
の記録」（堀江邦夫・現代書
館、2100円）著者が美
浜・福島・敦賀で原発下請
労働者として働いた記録で
す。実際に現場に入って自
分の目で見たこと、自分の
耳で聞いた仲間の声など、
原発労働者の驚くべき実態
を克明に綴っています。原
子力が人間のいのちを犠牲
にした発電であることがよ
くわかります。

*この3冊は、福島原発
事故前に前に書かれた本で
すが、今でもそのまま通用
します。



実習や公民館では自然農テクニク満載で惜しげもなく披露してくれました。が、終始一貫してご説明いただいたのは、その土地、その季節でどのように自然にアプローチしていくのかという「氣持ち・心」を述べられていたように思います。「石ころ一つにも意味があるはずです。」の言葉が耳に残りました。(イガちゃん)



高橋浩昭氏・畑研修 心に残る言葉



(雨海万美)

て来てしまう」という感覚がものすごくよく分かる気がしました。その上での「自然農」なのだとわかってきました。

私も是非ともいつか静岡の畑と田んぼに訪問出来るといいなと思っております。

その時の状態や状況ひとつひとつ、全てに理由があるんですね。しおれているとつい水をジャンジャンやつてしまう私ですが、根を一所懸命張ろうとしているところかもしれない！と、これからはもう少し観察して、自然の声に耳を傾けられるようになればと思います。

お昼の時間にどなたかが、高橋先生のこれまでの経歴についての質問をしていましたが、その時に「すべてをこうすると決めてしまわないで、自然とこうなってしまう」というのが本当のところでしょうか」と答えておられました。自然が刻一刻と姿を変えていくことを考えると「こうなってしまう」「自然と寄っ



高橋先生のお話の中で、「収穫した玉ねぎの大きさがばらつく」という話がありました。それが自然の状態なのかなと参考になりました。大きさが同じものばかりできるとか、大きいものは、やはり不自然なことなんでしょうね。人間が無理やりしていることなんですよ。(水澤洋恵)



また、「土の上の環境を豊かにすれば土壌も豊かになる」、正確ではないかもしれませんがそのようなニュアンスのお言葉が、ついつい土の方に目が行ってしまう私にとって、今回一番印象に残りました。

(佐藤たみ子)



実習で高橋先生のお仕事をらせていただいて常に見せていただいていた「その先の姿をおもい見ながら」、土や種や草を扱っていかれるのだな、と思いましたが、「草を刈ると、はやく次の季節の草に交代し、刈らないとゆっくり交代する」(しかしいずれは交代する)という、ことを 今日

(後藤ハニー)



先生が何かを決められるときにはほとんどが、「草を見て決める」というようなことを言われていました。草を刈る際に自分なりにも考えて刈ってはいましたが、そこまで大切に考えてはいませんでした。これからは、もっと草を感じながら作業していこうと思いました。

(風うたう)



「野菜を購入してくれる人のお陰で、自然農を続け深めることが出来た」という言葉が印象に残りました。やはり人間は自己満足の喜びより、人との関係、いろいろないのちのつながりの中から生まれる喜びのほうが大きくて深い、ということとを改めて思いました。

(エド)

九月十一日、自然農で生業を立てている高橋浩昭氏に畑研修をしていただきました。研修では、耕作放棄地をどのように自然農に変えていくのか、畑の観察の仕方、畝の立て方、草の刈り方、種蒔き・定植の仕方など、そのやり方を一から手本を見せていただき、また、日ごろ疑問に思っていることにも丁寧に答えていただきました。先生の謙虚に自然と向き合う姿勢は、会員の皆さんにとって大きな財産になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。